

令和5年度入団式を開催



入 団 式 で あ い さ つ を す る 関 市 長



令和5年5月14日(日)入団式を開催しました。
令和4年5月から令和5年4月までに入団した団員22名で当日は17名の新入団員が参加しました。
入団式では、法令や災害対応の講習の後、関大牟田市長をお迎えしての式典、その後消防本部本部署車庫前で訓練が実施されました。

本年度より副団長を経て団長を拝命しました。
第18号しよう太くんだよりを発行するにあたり一言挨拶
申し上げます。

現在大牟田市消防団はコロナ禍の活動自粛、制度改正な
どの影響により団員数が減っています。

4月の時点で600名からのスタートとなりました。又
思うような訓練も出来ない状況でありました。この様な状
況の中でも火災や自然災害は次々と起こっています。

まずは消防団一丸となって加入促進に力を入れ一緒に消
防団活動をしてくれる仲間を増やしていきたいと思ひます。

又、行動の規制緩和もされ消防団の活動も通常に戻って
きています。これからはいろんな場面を想定した訓練等に
力を入れ災害時には迅速な対応ができるように心がけてい
きたいと思ひます。

最後になりますが、大牟田市の安全、安心を守るために
も災害対応力の向上に努め、先輩たちより引き継がれてき
ている署団一致の精神を基に消防署と団が協力し力を合わ
せ、災害活動を行つていきたいと思ひます。

これからも消防団へのご理解とご協力、ご支援宜しくお
願い致します。



第19代 消防団長
西山 孝和



第18号

2023年10月発行

發行：大牟田市消防団予防委員会



大牟田市被害情報通報システムを活用した情報共有訓練を実施

大牟田市消防団では、令和5年6月4日、午前9時から12時まで市内全消防団を対象とし、大牟田市被害情報通報システムを活用した情報共有訓練を実施しました。

この訓練では、新たなシステムを活用するにあたり、団本部、分団本部の役割を確認するとともに、各分団の情報収集時の注意点や動態の把握を主眼とし取り組みました。

団活動レポート

みなと分団

豪雨災害の振り返り活動の中で、令和2年7月の豪雨災害の発生状況が視覚的に災害対策本部に迅速に情報を伝えることがさらなる災害を防ぐためには重要であり、情報共有が災害時の対応において重要であることを再認識しました。



團本部・分團本部訓練風景

用意に無線を使用しなくてよいのではないか。被害状況や避難情報を瞬時に共有する手法について検討が必要ではないか。

といった意見が出ました。成果と課題として、本活動、令和2年7月の豪雨の教訓を踏まえ、LINEを活用した災害報告の重要性を深く理解しました。

また、シミュレーション実践的なスキルを向上させることができました。今後定期的な訓練が必要であると感じました。

参加者の声

中友分団 分団長
宇木 巖史

令和5年6月4日に大牟田市では情報共有訓練を実施致しました。

毎年のように、どこかで災害被害発生しており大牟田市でも令和2年7月に大規模な豪雨災害が発生しました。当時は無線のみ対応で住民の救助要請や避難誘導等多岐に渡り活動を行いましたがい、大牟田市全体の被害状況



團本部・分團本部訓練風景

が掴めず、交通誘導を行う際に大変苦労しドライバーさんに迷惑を掛けました。今回の訓練は、大牟田市防災情報システムを活用しLINEアプリを使い災害状況を報告し適切な活動を行い、本部と現場が指示要請報告に的確に活動出来るよう市役所、消防、消防団組織間の情報を共有して防災に対応した訓練が出来ました。何時何処で何が起こるか分かりません。市民の安全を守るために消防団は頑張っています。



團本部・分團本部訓練風景

新幹部団員の声



副団長
小川 和雄

この度、副団長を拝命いたしました小川でございます。

消防団は協力と連携が非常に重要だと感じています。全団員の経験と知識を共有し、連帯感を持って取り組むことで、より効果的な活動が可能となります。新たなアイデアや提案も大歓迎ですので、皆様のご意見をお聞かせください。

私自身も消防団員として皆様と共に成長し、地域の皆様に貢献できるよう努めてまいります。また、近年頻発している



副団長
石井 洋徳

本年度より、分団本部を経て、副団長に任命いただきました。

大牟田市消防団の美風でもございます。署団一致の精神を基に、消防署と協力し合いながら、大牟田市市民の皆様方の安心安全のために活動してまいります。今後とも、消防団へのご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

る自然災害に的確に対応できる消防団を目指し、将来の大牟田市消防団がより良きものになるよう微力ながら頑張っております。



分団長
山下 和也

本年度よりみなと分団分団長をつとめさせて頂き、山下と申します。

今後とも分団員一丸となり、迅速な連携体制を強化するとともに、地域の皆様との情報共有や連携を強化することで、より一層、地域の安心安全に務めてまいります。よろしくお願い致します。



高取分団 分団長
木村 照芳

本年度より高取分団の

分団長をつとめさせて頂いております木村と申します。

私たち、高取分団は高取校区、平野地区を拠点に東部方面隊として活動させていたため、活動の場を地域の方々と共に成長して皆様方に貢献できるように努めてまいります。



大牟田中央分団 分団長
古澤 誠

本年度より大牟田中央分団 分団長をつとめさせて頂いております古澤と申します。

私たち、中央分団は小学校統合に伴い出来たまだ歴史の浅い分団では御座いますが、地域の



明治分団 分団長
阿津坂 仁士

本年度より明治分団の分団長を拝命した阿津坂と申します。

私たち明治分団は、明治校区を拠点に西部方面隊として活動をさせていただいております。

皆さまとの架け橋となり「自分たちの町は自分たちで守る」をスローガンに先輩方の築き上げた伝統と豊富な知識と経験を活かし町一番の身近な防災機関、地域防災リーダーとして頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



ので、明治分団としては地域全体の警戒地区の把握やそれに伴う訓練を通して地域とともに活動を行っていききたいと思っております。

新入団員の声



大牟田中央分団
1部 団員
船原 基近

大牟田中央校区のグラウンドゴルフ大会に参加した際、同じチームの方が、消防団の活動をされていて、お話ししたことが入団のきっかけでした。「こんな年齢の私でも入団できますか？」と言いました。ずっと興味があったのですが、年齢的な制限があるものと思い込んでいました。

感謝を受けていました。また、東日本大震災後、現地を訪れたとき、活動中、津波により命を落とした団員の方のご家族の手記を読みました。命懸けで避難を呼びかけた消防団の存在でどれだけの多くの命が救われたのか、本当に尊い活動であったことがよくわかりました。実際に、大牟田で大災害が起きたとき、私自身、同じような活動ができるのか、正直なところ自信はありません。しかし、30年近く教員をしていた経験上、目の前に子どもたちの命の危機が迫っていたら、きつと迷わず助けたいです。

消防団の活動を始めたばかりの私ですが、活動服に袖を通し、訓練に参加すると気持ちが引き締まります。火災は、発生しないように予防することが大切でしょう。災害は、起こるものとして、準備することが大切でしょう。地域の方々の安心・安全な暮らしを守るため、しっかりと訓練に参加し、体力的な心配がありません。が頑張りたいと思います。どうかよろしく願いいたします。



高取分団 1部 団員
ブイニニ・イー

僕が消防団に入ったきっかけは職場の上司である宮野さんから仕事の休憩中などに、消防活動の話や消防団について話を聞いたこと、興味を持ちやってみよう！と思った、消防団に入りました！

僕は消防団を通じて、沢山のひとと触れ合い、学び、僕の周りの人達力になれるように、消防活動頑張りたいと思う次第です。

結びになりますが、自分もステップアップして大牟田の為に自分の為にこれから頑張っていきたいと思っております。ありがとうございます。

参加者の声



中友分団 分団長
宇木 厳史

令和5年7月22日、23日開催されました大牟田市大蛇山祭りにおいてお祭り広場内の夏祭り警戒を行いました。

お祭り運行に支障をきたさないようお祭り広場の観客の迅速な誘導を安全に行い、22日は祇園六山巡行・競演、23日は大蛇

第61回おおむた「大蛇山」まつり警戒を実施

大牟田市消防団では、令和5年7月22日から23日にかけて開催されました第61回おおむた「大蛇山」まつりにおいてお祭り広場内の警戒を実施しました。

4年ぶりに制限のないコロナ禍前同様のお祭りの開催でしたが、大きな事故もなく無事にお祭りを終了する事が出来ました。

山火集合パレードの行事で大蛇の花火が吹き乱れ祭り男達の掛け声と御囃子を聴きながらの警戒でした。



明治分団 班長
岡本 頼直

本年7月22日19時より大蛇山祭り西部方面隊にて警戒に参加致しました。

私は、本部席前のステーション周辺の警備、バリケード管理移動などにあたりました。



よかったです。反省点を挙げるならバリケード移動場所が祭り関係の方との連絡が不十分で違うところに並べる不手際があり結果観客が入り込んで来たので少し反省しています。

次回は、今回の問題点を踏まえて、安全、安心な警備に努めていきます。